

歴史 | 探訪

~文化財を巡る~③

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「寺院建築」

神社建築に引き続き、寺院建築を紹介します。寺院建築は、内に仏像などを安置することから建物の規模も大きく、複雑な構造になっています。

温泉寺本堂 (国指定) 城崎町湯島

桁行五間、梁間五間、一重、入母屋造、銅板葺。室町前期建立。建立年代は明らかになっていませんが、本堂内の懸仏に至徳4年(1387年)の銘が記されていたことなどから、このころ、造られたと推定されています。昭和43年から始められた全面解体修理は、本堂が山腹にあり、木材を運び込む作業道を作る所から始めなければならなかったため、実に2年5カ月もかかりました。



り、木材を運び込む作業道を作る所から始めなければならなかったため、実に2年5カ月もかかりました。

観音寺仁王門 (県指定) 日高町観音寺

桁行三間、梁間二間、一重、寄棟造、棧瓦葺。室町中期建立。建立された年代は明らかになっていませんが、形式や手法からこのころ造られたとされています。南に面した一重門で、前面両脇間の床が板張りで、内に仁王像を安置しているのは珍しい形式といわれています。鬘股や蓑束などの形状が時代の特徴をよく表しており、隅柱や斗の寸法などに古式を残していることなどが特徴です。



長楽寺薬師堂 (市指定) 日高町上石

桁行三間、梁間三間、一重、入母屋造、銅板葺。寛政3年(1791年)再営。境内にある「チリツバキ」がよく知られていますが、北側の一段高い場所に建てられた薬師堂も、優れた建造物です。堂の向拝上部にある装飾が豪華で、虹梁上の彫物や木鼻などに過度なほどの彫刻が施されています。また、参拝者から見える正面に比べて、背面などの彫刻が簡素に仕上げられています。



また、参拝者から見える正面に比べて、背面などの彫刻が簡素に仕上げられています。

宗鏡寺開山堂 (市指定) 出石町東条

桁行三間、梁間二間半、一重、寄棟造、瓦葺。元禄4年(1691年)建立。宗鏡寺は出石藩主の菩提寺として知られており、開山堂は沢庵和尚が中興した当時の建物です。格天井の中央部が一段持ち上げられた折上げ格天井、また欄間や床など、細部にいたるまで丁寧で上質な造作に目を見張るものがあります。出石地域で一番古い建物といわれています。



語句の解説

- ・懸仏…銅などの円板の上に神像や仏像などを付けたり、線刻したりしたもの。これを堂内にかけて拝んだ。
- ・蓑束…軒下に使用された装飾用の束。束は軒下につけられた短い柱のこと。
- ・格天井…角材を45センチほどの間隔で格子

- 状に組んで、上に板を張った天井。
- ・虹梁…虹形に反った梁。反った両端に渦や若葉などの模様を彫る。
- ・木鼻…肘木、虹梁の横木が柱を貫き、突出した部分。新しくなるにつれて、象や獅子、竜などが彫刻される。

●発行/豊岡市
☎0796612311111
市長室 FAX 24-11004
●編集/政策調整部秘書広報課
FAX 24-2575

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-11111
・出石 ☎52-31111
・城崎 ☎32-10001
・日高 ☎42-11011
・但東 ☎54-10001